

社説

工務省設置の説

此項政府の邊にては工務省設置の説を唱ふるものあり
と云ふ其意旨を聞くに逓信省所轄の電信鐵道等の事業
及び内務省土木局所轄の事業を一括して一省に集め又
國中の工業に關する事務を監督せしむる目的なりと云
ふ其得失は姑く後に譲り政府の有様を見るに差當り
事の始末す可きもの甚だ少なからず即ち行政整理の必
要なる所以にして大に奮發して着手する覺悟のよしな
れども果して效を奏するや否や未だ知る可らず蓋し整
理とは必ずしも收縮の意味に非ず從來の未始末を始末
すると同時に事に由りては更に擴張の必要もあら
んれば第一の着手は先づ部内の掃除より始めざる
可らず嗚呼ば行政整理は古家の手入の如し先づ天井の
煤を拂ひ四壁の塵を拭ふて屋内を清潔にし造作を仕換
へたる其上にて尙ほ住居に不便とあれば更に座敷の
建増に着手す可きのみ古家手入の順序なるに然るに政
府は其整理を宣言しながら未だ部内の掃除にさへも着
手せざるに早く既に工務省新設の議を唱ふるが如き本
來の順序を誤るものと云ふ可し目下の事情に就いて新
省新設の不可なるは右の如しとて更に其利害に就
て論ぜんに工務省は電信鐵道土木等の事業を從來所管
の各省より引離し一括して之を管理するものなりと云
ふ内務省をして土木の一局を割かしむるが如きは差支
なからんれども若し電信鐵道等の事業を逓信省より
奪ひ去るときは同省の事は殆んど皆無に歸して實
際には廢省を宣告するに異ならず逓信果して無用の贅物
ならんには之を廢するも差支なければも實際には單に
逓信の名を廢して其事務を新設の工務省に移すに過ぎ
ず果して然らば内務の土木局を今の逓信省に合併した
ると同様の結果に過ぎざるのみ或は工務省の目的は敢
て逓信の仕事を兼はんとするに非ず只電信鐵道等の作
業を引受るのみにして逓信運輸の事は依然逓信省に委
任す可きのみ即ち内務の土木を引受るも同様にして唯
工務の請負を爲すに過ぎずと云はんか果して此説の如
くならんには海軍の軍艦、陸軍の銃砲の如きも工務省
に引受けて差支なきが如くなればも軍艦兵器の製造に
して海陸軍の手を離るるも能はざるの必要あらんは
電信鐵道の仕事も自から逓信省に附屬せしむるの便
利を見るべし本來を云へば電信鐵道その他の工事の如
き國家公共の事業と稱するも其工事の實際は之を民間
に請負はしめ政府は只それを監督するのみにて差支な
きものなるに政府自から工務省と名くる一種の工事請
負省を開て自から營業するが如きは無用の勞と云はさ
るを得ず何れの點より見るも我輩は工務省設置の必要
を認むるも能はざるものなり
或は曰く工務省の設置は主張者も雖も其實その必要を
認めて主張するに非ず近來政府は人物費用云々として頻
りに新設の省を用ひんとしなから舊物の放逐は種々の
情實の爲めに容易に行はる可らず何分にも地位の乏し
きに對して舊の農商務省内務省などが人を奪るるが爲
めに殊更らに局を増設したる故智を襲ひ更に其規模
を大にして工務省の新設も出掛けたるものならんとの
説あり果して此邊の意味合もならんには因循姑息只露

く可きのみ開く所に據れば今の大臣中には所謂伴食宰
相とて部内に重んぜられず居るも居らぬも差支なき人
物ありと云ふ早速の種の輩を取り除けたらば内閣の
椅子にも差支り一二の空位を生ず可し況んや次官局長
の地位の如き其取換へは甚だ容易なる其上に更に官
吏登用法を廢するときは新人物の登用、自由自在なる
可し何の障りもなきもなるに必要なき新省を設置
して人物登用の地を爲さんとするが如き自から決斷の
足らざるを表白するものにして斯る次第にては行政整
理の始末なき先づ以て聲東なしと云はざるを得ず我
輩の甚だ取らざる所なれば政府果して大に爲すの考な
らんには自から決心斷行を期して斯る無益の窮策は先
づ以て思ひ止まる可きものなり

内閣組織の一説

左の談話は在野の某有力家が政界黨事の施設、國運
の進歩に伴ふ能はずして常に運籌なるは必竟當局者
の思想古びて國勢の進退と相稱するの機能衰弱せ
ると元勳相互に牽掣するの致す所なりとて内閣の組
織に關し其意見を語りたるものなり掲げて當局者の
參考に資す
職後經營を以て自ら任ずる内閣の經營難を見兼ねて元
勳難策を唱ふるものわれども元勳難策は時勢に伴ふ
た策でないと思ふ伊藤や板垣を今の内閣に入れて松方
や大隈と並立させたらと云ふて連も立派な政の出来
得られるものでない、元勳難策は所謂船頭多ければ船
を陸に上すも出て来ると云ふ趣意であらうが併し今
の政府が一番困難なのは何かと云ふに皆な同じ位の脊の
高きの所謂元老が相集て互に自分の所見を貫かんと
するのが第一の欠點である、恰も一の船に五人も八人
も船長が乗込んで居ると同様にして今の政府が案外仕
事の出来ぬ所以は全く茲に在るのである、其一人々々
に就て見れば成程伊藤は大才子であらう大隈も大人物
であらう松方も國權もエライ人物に相違なからう然る
にわの利巧者の集た政府が何ゆゑ外交に内治に殊に財
政の上に於て馬鹿々々敷事をするかと云ふに夫れは外
ではない伊藤の才を大隈が殺し大隈の働きを伊藤が奪
撃し又大隈の謂ふもとは板垣が殺す松方の謂ふもとは
伊藤が開かぬと云ふ有様で彼方が云へば此方が反對
し此方が云へば彼方が苦情を唱すとか夫れでは長州に
氣の毒であるとか是れでは薩州に濟まぬとか云ふやう
な情實付の元老が寄集て局に當るから何事も出来ずに
遂に天下の人心が厭いて了ふと云ふ今日の形勢である
既に同じ骨節の船頭が四人も五人も居る其内閣に又候
伊藤とか板垣とか井上とか云ふ元老を入れんとするは
つまり五人の船長を七人にも八人にも増すと云ふに過
ぎぬ、斯様な事では連も今日の日本の政の出来るも
のではない
成程今の元勳諸公も昔は若かつたらう二十年前は若
者であつたらう併しながら今日は遠慮以後の人となつ
て全く小供に復たしたのである、此小供等が如何に大勢集
たからと云ふて事後經營を謂ふか何かは知らんが時事
新報の所謂危機一髪此喧ましい世の中に立て何事か出来
るか連も遠慮以後の小供等の伎倆で出来得られる時勢
ではない

地

仙臺
政黨 八九年以前
分互に其勢力の
て政勢著しく
至り現今其面目
前回の職選選挙
代議士中其三名
進歩黨漸く其根
たるの妻有りて
其反對に自由黨
日の儘にては次
官民 官費民衆
勝田前知事が不
知事山田氏は一
の勇健等も自然
角官吏は一般に
ちては如何と思
産業は隨處に
其他諸官制學校
常に多く從て
市街の周圍なる
畑地多ければも
桑業を以て近在
を見て其一斑を
を土地の養育
にして特に仙臺
其産物産物少
其他輸出二重
年の産額十數萬
して且つ山田知
にて既に過般の
隔業を提出し來
出するよし又市
れども是れとて
械の古式なる爲
縣下する處に宣
がらずとて議者

●京濱各停車場車輪轉動
●東京市立第一高等學校
●東京市立第二高等學校
●東京市立第三高等學校
●東京市立第四高等學校
●東京市立第五高等學校
●東京市立第六高等學校
●東京市立第七高等學校
●東京市立第八高等學校
●東京市立第九高等學校
●東京市立第十高等學校
●東京市立第十一高等學校
●東京市立第十二高等學校
●東京市立第十三高等學校
●東京市立第十四高等學校
●東京市立第十五高等學校
●東京市立第十六高等學校
●東京市立第十七高等學校
●東京市立第十八高等學校
●東京市立第十九高等學校
●東京市立第二十高等學校
●東京市立第二十一高等學校
●東京市立第二十二高等學校
●東京市立第二十三高等學校
●東京市立第二十四高等學校
●東京市立第二十五高等學校
●東京市立第二十六高等學校
●東京市立第二十七高等學校
●東京市立第二十八高等學校
●東京市立第二十九高等學校
●東京市立第三十高等學校
●東京市立第三十一高等學校
●東京市立第三十二高等學校
●東京市立第三十三高等學校
●東京市立第三十四高等學校
●東京市立第三十五高等學校
●東京市立第三十六高等學校
●東京市立第三十七高等學校
●東京市立第三十八高等學校
●東京市立第三十九高等學校
●東京市立第四十高等學校
●東京市立第四十一高等學校
●東京市立第四十二高等學校
●東京市立第四十三高等學校
●東京市立第四十四高等學校
●東京市立第四十五高等學校
●東京市立第四十六高等學校
●東京市立第四十七高等學校
●東京市立第四十八高等學校
●東京市立第四十九高等學校
●東京市立第五十高等學校
●東京市立第五十一高等學校
●東京市立第五十二高等學校
●東京市立第五十三高等學校
●東京市立第五十四高等學校
●東京市立第五十五高等學校
●東京市立第五十六高等學校
●東京市立第五十七高等學校
●東京市立第五十八高等學校
●東京市立第五十九高等學校
●東京市立第六十高等學校
●東京市立第六十一高等學校
●東京市立第六十二高等學校
●東京市立第六十三高等學校
●東京市立第六十四高等學校
●東京市立第六十五高等學校
●東京市立第六十六高等學校
●東京市立第六十七高等學校
●東京市立第六十八高等學校
●東京市立第六十九高等學校
●東京市立第七十高等學校
●東京市立第七十一高等學校
●東京市立第七十二高等學校
●東京市立第七十三高等學校
●東京市立第七十四高等學校
●東京市立第七十五高等學校
●東京市立第七十六高等學校
●東京市立第七十七高等學校
●東京市立第七十八高等學校
●東京市立第七十九高等學校
●東京市立第八十高等學校
●東京市立第八十一高等學校
●東京市立第八十二高等學校
●東京市立第八十三高等學校
●東京市立第八十四高等學校
●東京市立第八十五高等學校
●東京市立第八十六高等學校
●東京市立第八十七高等學校
●東京市立第八十八高等學校
●東京市立第八十九高等學校
●東京市立第九十高等學校
●東京市立第九十一高等學校
●東京市立第九十二高等學校
●東京市立第九十三高等學校
●東京市立第九十四高等學校
●東京市立第九十五高等學校
●東京市立第九十六高等學校
●東京市立第九十七高等學校
●東京市立第九十八高等學校
●東京市立第九十九高等學校
●東京市立第一百高等學校

●東京市立第一高等學校
●東京市立第二高等學校
●東京市立第三高等學校
●東京市立第四高等學校
●東京市立第五高等學校
●東京市立第六高等學校
●東京市立第七高等學校
●東京市立第八高等學校
●東京市立第九高等學校
●東京市立第十高等學校
●東京市立第十一高等學校
●東京市立第十二高等學校
●東京市立第十三高等學校
●東京市立第十四高等學校
●東京市立第十五高等學校
●東京市立第十六高等學校
●東京市立第十七高等學校
●東京市立第十八高等學校
●東京市立第十九高等學校
●東京市立第二十高等學校
●東京市立第二十一高等學校
●東京市立第二十二高等學校
●東京市立第二十三高等學校
●東京市立第二十四高等學校
●東京市立第二十五高等學校
●東京市立第二十六高等學校
●東京市立第二十七高等學校
●東京市立第二十八高等學校
●東京市立第二十九高等學校
●東京市立第三十高等學校
●東京市立第三十一高等學校
●東京市立第三十二高等學校
●東京市立第三十三高等學校
●東京市立第三十四高等學校
●東京市立第三十五高等學校
●東京市立第三十六高等學校
●東京市立第三十七高等學校
●東京市立第三十八高等學校
●東京市立第三十九高等學校
●東京市立第四十高等學校
●東京市立第四十一高等學校
●東京市立第四十二高等學校
●東京市立第四十三高等學校
●東京市立第四十四高等學校
●東京市立第四十五高等學校
●東京市立第四十六高等學校
●東京市立第四十七高等學校
●東京市立第四十八高等學校
●東京市立第四十九高等學校
●東京市立第五十高等學校
●東京市立第五十一高等學校
●東京市立第五十二高等學校
●東京市立第五十三高等學校
●東京市立第五十四高等學校
●東京市立第五十五高等學校
●東京市立第五十六高等學校
●東京市立第五十七高等學校
●東京市立第五十八高等學校
●東京市立第五十九高等學校
●東京市立第六十高等學校
●東京市立第六十一高等學校
●東京市立第六十二高等學校
●東京市立第六十三高等學校
●東京市立第六十四高等學校
●東京市立第六十五高等學校
●東京市立第六十六高等學校
●東京市立第六十七高等學校
●東京市立第六十八高等學校
●東京市立第六十九高等學校
●東京市立第七十高等學校
●東京市立第七十一高等學校
●東京市立第七十二高等學校
●東京市立第七十三高等學校
●東京市立第七十四高等學校
●東京市立第七十五高等學校
●東京市立第七十六高等學校
●東京市立第七十七高等學校
●東京市立第七十八高等學校
●東京市立第七十九高等學校
●東京市立第八十高等學校
●東京市立第八十一高等學校
●東京市立第八十二高等學校
●東京市立第八十三高等學校
●東京市立第八十四高等學校
●東京市立第八十五高等學校
●東京市立第八十六高等學校
●東京市立第八十七高等學校
●東京市立第八十八高等學校
●東京市立第八十九高等學校
●東京市立第九十高等學校
●東京市立第九十一高等學校
●東京市立第九十二高等學校
●東京市立第九十三高等學校
●東京市立第九十四高等學校
●東京市立第九十五高等學校
●東京市立第九十六高等學校
●東京市立第九十七高等學校
●東京市立第九十八高等學校
●東京市立第九十九高等學校
●東京市立第一百高等學校